



水野敏夫

Q：多学年指導において困難性を伴う「自閉症・情緒障害学級」に、多学年指導を補助する非常勤講師配置のような支援を行うことはできないか。



A：「自閉症・情緒障害学級」の指導充実のため、量と質の両面から改善していきたいと考えている。量的改善としては、地域の特別支援教育を推進する専門性の高い教員が配置できるよう「特別支援学級コーディネーター教員加配の新設」を国に対し要望している。また、質的改善については、H30年度から「特別支援学級担任」や「通級指導教室担当」を特化して担う教員を採用する「特別支援教育推進枠」を設けた。これは全国でも先進的な取組みである。今後も、本市の特別支援教育を推進する役を担う教員を計画的に採用・配置していく。



佐藤成子

Q：3次総及び総合戦略の評価報告を受け、今後市としてどのように施策へ反映し取り組んでいくのか。

A：外部評価委員会からの指摘事項は2点。1点目は時勢に応じた政策体系の見直しが必要であるということ、2点目は政策の成果を捉えるための適切な指標の設定が必要である、ということである。1点目の政策体系に関しては、今回の意見を参考に4次総策定時に反映していく。2点目の成果指標に関しては、この10月から3次総10分野すべての政策・施策について、指標の的確性に関する検証を行い、3次総後期実施計画に反映できるよう、追加・修正作業を進めていく。

後藤哲朗

Q：BCP策定支援について、今後どのように取り組んでいくのか。



A：中小企業において、BCP策定の必要性を実感するまでに至っていないため、BCP策定に向けた気運を盛り上げることが必要である。今後は、危機管理をテーマとしたセミナー開催と共に、市内外の中小企業の好事例を「見える化」し、BCP策定の意義についての理解と策定意識を高めていきたい。

Q：頑張る子どもたちの活躍の周知についてどう考えるか。



A：市長顕彰制度や市長表敬訪問、市長賞交付と共に、報道機関等への情報提供を通じて、市としても頑張る子どもたちを応援しているが、今後は新たな試みとして市公式のSNSやホームページにおいても広く発信していく。

市議会議員と話そう with 高校生
(高校生との意見交換会)

静岡市議会では、議会に興味を持ってもらうことを目指し、平成29年度から市議会議員と高校生との意見交換会を開催しています。今年度は、8月10日に静岡市立高等学校の皆さん、9月19日に清水桜が丘高等学校の皆さんと意見交換会を開催しました。生徒と議員がグループに分かれてディスカッションを行い、交通政策や静岡市の人口を増やすにはどうしたら良いか等について議論を交わしました。

今後も常葉橘高校、静岡農業高校、城南静岡高校の皆さんと意見交換を行う予定です。

志政会 しせいかい
だより

平成30年10月発行

第12号

発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

会派視察



秋田県五城目町は、秋田市から北へ30kmほどのところにある自然豊かな町。五城目町の人口は平成25年度に1万人を割って以降減少を続けており、高齢化も進んでいます。しかし、そんな課題を抱える五城目町は今、移住者・起業者を応援する町として全国から注目を集めています。今回、地域おこし隊を編成して特色のない町を活性化させるとともに、廃校を利用した起業支援・移住支援を進め実績を出している五城目町を視察し、まちづくりのヒントを探ってきました。

■五城目町地域活性化支援センター

～旧小学校舎が“企業、人、地域”の交流の基点に～



五城目町は、人口減少・高齢化に歯止めをかけるため、平成23年に企業誘致係を新設し、進出企業を求め活動を始めました。都市の大企業や製造工場などをターゲットに誘致活動を始めるも円滑には進まず、誘致のターゲットをサテライトオフィスや支社向けに変更。平成25年に、閉校した馬場目小学校を企業誘致の拠点として活用し、地域活性化支援センター「BABAME BASE」をオープンしました。

この「BABAME BASE」は、オフィス数11部屋、事業支援棟1棟。11社が起業し、現在は12社が入居しています。この「BABAME BASE」という“場”ができたことで、他の地域からの視察や取材があったり、入居してくれる企業が少しずつ増え、またその企業の繋がりで見入居企業が増えたりと、状況がプラスに変化してきたとのことでした。

また、平成26年からは地域おこし協力隊を設立。移住定住や6次産業化について活動し、フェイスブックでの発信やごじょうめ朝市大学などの成果をあげています。この協力隊や支援センター入居者を通して、年間5,000人が五城目町を訪れ、地域住民と交流するまでになりました。今後は、女性を対象とした企業交流イベントや若者をターゲットとした取組みを進めていく予定とのことです。



五城目町まちづくり課柴田係長と（前列中央）

■五城目町「シェアビレッジ」プロジェクト

～全国の古民家をつないでネットワーク型の村をつくる～

「シェアビレッジ」は、五城目町町村集落にある誰も住まなくなった古民家を改装し、宿泊施設としてよみがえらせたプロジェクトです。全国展開しているシェアビレッジプロジェクトの中で、最初の村となりました。

「年貢」と呼ばれる年会費を支払うことで「村民」として登録され、各種イベントや宿泊利用が可能となる仕組み。実際に移り住むことなく、村民としての権利を持つことができる手軽さもあり、集まった村民は1年間で1500人を越えました。

イベントは、五城目町以外にも首都圏等でも開催されており、注目を集めているプロジェクトです。実際、このプロジェクトを起点として五城目町への移住者も増えているとのことです。





9月議会



9月補正予算 53 億 6,563 万円(一般会計 26 億 4,918 万円) 小中学校へのエアコン設置や ブロック塀対策などに

■ 小中学校へのエアコン設置のための設計費 … 2,879 万円

静岡市は、休校中の小学校を除く市内全 125 の小中学校普通教室にエアコンを設置する。現在、市内の普通教室へのエアコン設置は 14 教室、設置率は 0.8%と全国平均を大幅に下回っている。猛暑による児童生徒の負担を考慮し、19~20 年度で小学校に、20~21 年度で中学校にそれぞれ整備していく方針。事業費は全体で 55 億円を見込んでおり、今回の 9 月補正では小学校分の設計費を計上した。



【小学校】

86 校 普通教室 1,286 教室
2018 年度設計 (9 月補正)
2019~2020 年度整備 (予定)

【中学校】

39 校 普通教室 538 教室
2019 年度設計
2020~2021 年度整備 (予定)

■ ブロック塀対策事業費 … 3 億 1,601 万円 (一般会計 1 億 6,917 万円・水道事業会計 1 億 4,684 万円)



危険なブロック塀の例

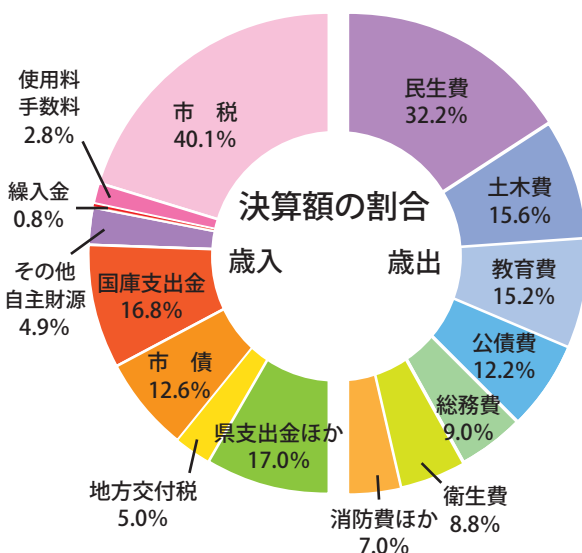
大阪北部地震におけるブロック塀等倒壊事故を受け、小中学校を含めたすべての市有施設における危険・不適合なブロック塀の撤去を行う。市有施設で危険・不適合とされたブロック塀は 100 施設 175 ヶ所あり、当初予算で対応した分を除く 80 施設 155 ヶ所分を 9 月補正で賄う。また、民間のブロック塀の撤去費用に対する助成を行う。

<一般会計決算>

費目名		決算額
自主財源	市税	1268.9 億円
	使用料・手数料	89.4 億円
	繰入金	25.9 億円
	その他自主財源	154.2 億円
依存財源	国庫支出金	530.6 億円
	市債	399.5 億円
	地方交付税	158.6 億円
	県支出金ほか	535.8 億円
合計		3162.8 億円
歳出	民生費	997.2 億円
	土木費	484.4 億円
	教育費	469.3 億円
	公債費	378.1 億円
	総務費	279.4 億円
	衛生費	271.5 億円
	消防費ほか	216.4 億円
合計		3096.2 億円

平成 29 年度決算概要

静岡市の平成 29 年度決算概要が発表されました。一般会計の歳入は 3,162 億円 (前年度比 11.2%増)、歳出は 3,096 億円 (同 11%増) で、次年度に繰り越すべき収支を差し引いた実質収支は 45 億 5 千万円の黒字となりました。一般財源に占める経常的経費の割合を示す経常収支比率は 94%と、財政構造の弾力性が低い状態が続いています。また、市債の市民 1 人当たりの残高は、約 64 万 9 千円となっています。



市民 1 人当たりの
市民税負担額…
18 万 232 円
市民 1 人当たりの
行政経費…
43 万 9,786 円

平成 29 年度の各総額を、
平成 29 年度末住民基本
台帳人口 (704,043 人)
で割りました。



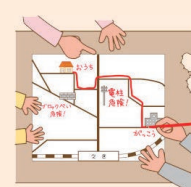
会派研修

教育現場視察

静岡市立中島中学校 静岡市立井宮小学校

■ 静岡市立中島中学校 (駿河区) ～ 小学校と連携して取り組む防災教育 ～

中島中学校では静岡型小中一貫教育として、中島小学校と連携し、9 年間を通した防災教育を実践しています。自治会と連携した防災訓練への全児童参加や東北被災地訪問、子どもの視点から収集した防災に関する情報を地域のマップに落とし込んだオリジナルの防災マップの作成など、特色ある活動を推進しています。



視察では、校長より防災教育についての説明を受け、小学校から一貫して防災教育を行うことの効果や、地域への波及効果について意見交換を行いました。



■ 静岡市立井宮小学校 (葵区) ～ 特別支援学級の現況と課題 ～

井宮小学校には 3 クラスの特別支援学級がありますが、そのうち 1 クラスに法律で定める定員上限の 8 児童が所属しています。視察では、実際の授業の様子を見学した後、意見交換を行いました。現場の教員からは、1 学級の児童数が 4 人を超えた場合、教員 2 人の配置を求める要望があがり、特別支援学級への教員の配置増の必要性を肌で感じました。今後、市の当局へ要望していききたいと思います。

政策提言へ向け 意見交換を行っています

志政会では毎年、政策提言策定に向け、各種団体との意見交換を精力的に行っています。今年度は、東豊田中央こども園、災害ボランティア、ろうきん住んぷ会、常葉大学、認定 N P O 法人丸子まちづくり協議会、中小企業家同友会、ドローン研修会等の方々と意見交換を行いました。

常葉大学では、学生や教員、地域貢献センター職員の方々と意見交換を行い、バリアフリー化の推進や学生が集える場所の整備等を求める声がありました。また、その他の団体の方からも貴重な意見を伺うことができました。

これらの意見を参考に、今後会派内で来年度予算に向けた政策提言をまとめ、11 月上旬に市長へ提出する予定です。



常葉大学草薙キャンパス



ドローン研修会

中小企業家同友会



丸子まちづくり協議会

東豊田中央こども園